

広島交響楽団

2015 アスティ ふれあいコンサート

～愛あるメロディーを奏でるヴァイオリニスト 奥村愛を迎えて～

指揮:船橋 洋介

ヴァイオリン:奥村 愛

管弦楽:広島交響楽団

とき 2015年12月3日(木) 18:30開演
(18:00開場)

ところ 広島国際会議場フェニックスホール

入場料(全席自由・消費税込み)

ペア券/¥4,000(前売のみ) 一般/¥2,500(当日¥3,000)
学生/¥2,000(当日¥2,500) ※未就学児の入場はお断りします。

チケット販売所

エディオン広島本店/福屋八丁堀本店/福屋広島駅前店/アスティ/中国新聞社読者広報部
チケットぴあ:Pコード 276-847/ローソンチケット:Lコード 62343

お問い合わせ先 アスティ総務課 TEL:082-278-1113
主催/アスティ・中国新聞社

第1部:愛あるメロディーを奏でるヴァイオリニスト～奥村 愛を迎えて

エルガー:愛の挨拶
クロール:パンジョーとフィドル
ヘス/加藤昌則編:ラヴェンダーの咲く庭で
モリコーネ/長生淳編:ガブリエルのオーボエ～映画「ミッション」
サン＝サーンス:序奏とロンドカプリチオーソ

第2部:ヨーロッパの国々をめぐる名曲集

[フランス] ビゼー:組曲「アルルの女」より「ファランドール」
[ドイツ] バッヘルベル:カノン
[オーストリア] モーツァルト:アイネ・クライネ・ナハトムジークより第1楽章
[オーストリア] J.シュトラウス:ラデツキー行進曲
[オーストリア] J.シュトラウスII:トリツトラツチ・ホルカ
[チェコ] ドヴォルザーク:ユーモレスク
[ロシア] チャイコフスキー:バレエ音楽「白鳥の湖」より「四羽の白鳥の踊り」
[イギリス] エルガー:行進曲「威風堂々」第1番

Program

第1部：愛あるメロディーを奏でるヴァイオリニスト ～奥村 愛を迎えて

エルガー：愛の挨拶

クロール：バンジョーとフィドル

ヘス／加藤昌則編：ラヴェンダーの咲く庭で

モリコーネ／長生淳編：ガブリエルのオーボエ～映画「ミッション」

サン＝サーンス：序奏とロンドカプリチオーソ

第2部：ヨーロッパの国々をめぐる名曲集

[フランス] ビゼー：組曲「アルルの女」より「ファランドール」

[ドイツ] バッヘルベル：カノン

[オーストリア] モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジークより第1楽章

[オーストリア] J.シュトラウス：ラデツキー行進曲

[オーストリア] J.シュトラウスⅡ：トリツトラツチ・ホルカ

[チェコ] ドヴォルザーク：ユーモレスク

[ロシア] チャイコフスキー：バレエ音楽「白鳥の湖」より「四羽の白鳥の踊り」

[イギリス] エルガー：行進曲「威風堂々」第1番



奥村 愛【ヴァイオリン】
Ai Okumura/
Violin

7歳までアムステルダムに在住。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースで学ぶ。辰巳明子、ライナー・ホーネックの各氏に師事。第48回全日本学生音楽コンクール全国大会中学生の部第1位、第68回日本音楽コンクール第2位など受賞多数。

国内の主要オーケストラと多数共演を重ねている。2000年にはポーランド国立クラクフ室内管弦楽団と、2002年にはイリジ・ビエロフラーヴェク指揮ブラハ・フィルハーモニー管弦楽団と共演するほか、2004年にはバトリック・ガロワ指揮シンフォニア・フィンランディアの日本ツアーにソリストとして参加。06年・07年・08年は本名徹次指揮ヴェトナム国立交響楽団のヴェトナム・ツアーにソリストとして参加するなど、海外オーケストラとの共演も多い。また富士山河口湖音楽祭には毎年出演を続けている。

CDは02年「愛のあいざつ」でデビュー。最新CDは2013年11月発売の「With a Smile～微笑みをそえて」(エイベックス・クラシックス)。

2012年にデビュー10周年を迎え、全国リサイタル・ツアーを開催。親しみやすいプログラミングと自然体なトークによるリサイタルは各地で大好評を得ている。一児の母としての経験を生かし、自らのプロデュースによる親子向け公演を数多く手掛け、各地で大絶賛されている。テレビ・ラジオ等への出演も多く、多彩な活躍で注目されている。

桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。佐藤製菓のトータルスキincareブランド「エクセルラ」のイメージキャラクターをつとめている。

<http://aiokumura.jp/>

公式Facebookページ <https://www.facebook.com/aiokumuraofficial>



船橋 洋介【指揮】
Yosuke Funabashi/
Conductor

東京音楽大学ピアノ科卒業。同大学指揮研究科終了。「ブラハの春」をはじめ数々の国際コンクールで入賞。特にオペラ・合唱付き作品で深い洞察力を発揮。チョン・ミョンフン、フェドセーエフなどの絶大な信頼を受け、数多くのステージやオペラ制作に携わる。99年モーツァルト「魔笛」でオペラ指揮者としてデビュー。「ドイツAクラスの歌劇場に匹敵する公演水準」と評された。05/06シーズンはウィーン楽友協会大ホール「黄金の間(ムジークフェライン)」に於いてヴェルディ「レクイエム」を指揮した他、国内では「愛・地球博」でのコンサートなど全国的に演奏活動を展開。08/09シーズンは、ペーテル・ブノワ「盛儀のミサ」を日本初演、その功績によりペーテル・ブノワ財団より名誉称号が授与された。またブラハ交響楽団への客演、ブラハにてモーツァルトのレクイエムを指揮し成功を収める。11/12シーズンは、12年5月に長岡にて、カール・ジェンキンス《平和への道程》の日本で初めてとなる全曲演奏会を行った。企画立案から4年をかけて実現へ導いたその情熱は、演奏においても「合唱を懸命に整え、かつ高みに導かんと奮闘する船橋のタクト。」と高く評された。13/14シーズンはモラヴィア・フィルへ客演、ベルリンにてYACOB(Young Asian Chamber Orchestra Berlin)を指揮。また都響、東響、大阪フィル、大阪響等への客演など、東京とベルリンを拠点に国内外で精力的に活動を展開している。ライフワークとして教育にも力を注ぎ、音楽鑑賞教室のプロデュースや各地でのワークショップに数多く招聘されている。

東京音楽大学大学院講師などを歴任。現在、宮城学院女子大学音楽科特任准教授、長岡市芸術文化振興財団音楽アドバイザー。

オフィシャルホームページ <http://y-funabashi.way-nifty.com/blog/>



広島交響楽団【管弦楽】
Hiroshima Symphony Orchestra

国際平和文化都市「広島」を本拠地とする、中・四国唯一の常設プロオーケストラ広響は、1998年に日本を代表する指揮者である秋山和慶が首席指揮者・ミュージックアドバイザーに就任し、2004年から音楽監督・常任指揮者を務めている。名誉創立指揮者・井上一清をはじめ、2008年5月からは首席客演指揮者にエヴァルト・ダネル、ヘンリック・シェーファーが就任した。日本各地はもとより、ウィーン、ブラハ、フランス(ルーアン、ル・アーブル)、サンクトペテルブルク、韓国(テグ、ソウル、プサン)などで公演し好評を博す。現在は年14回の定期演奏会(広島10回・呉・福山・廿日市・島根)や、ディスカバリー・シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート・巡回コンサートなど年間約150回に及ぶ演奏活動を行っている。2001年度から文化庁より我が国の芸術水準向上の牽引力となる芸術団体への特別支援事業の指定団体となっており、各方面から一層の活躍を期待されている。また2011年4月には、新たに公益社団法人の認定を受け、演奏活動のみならず様々な社会貢献活動にも取り組んでいる。